

取付方法説明書 (n11・n12・n38・n59 共通)

穴あけの手順は別紙に記載しています。

1. 取り付け前にラッチを調整します。

A. 取り付け先ドアのバックセット寸法(ドア端から径54mmの寸法)が、60mmと70mmのどちらであるかを確認します。

B. バックセット寸法が70mmの場合は、図1に示すように、ボルトをのぼしてデッドボルトのラッチを調整します。さらに、図2に示すように、ボルト上のスプリングピンをつかみ、70mm側の溝まで動かします。

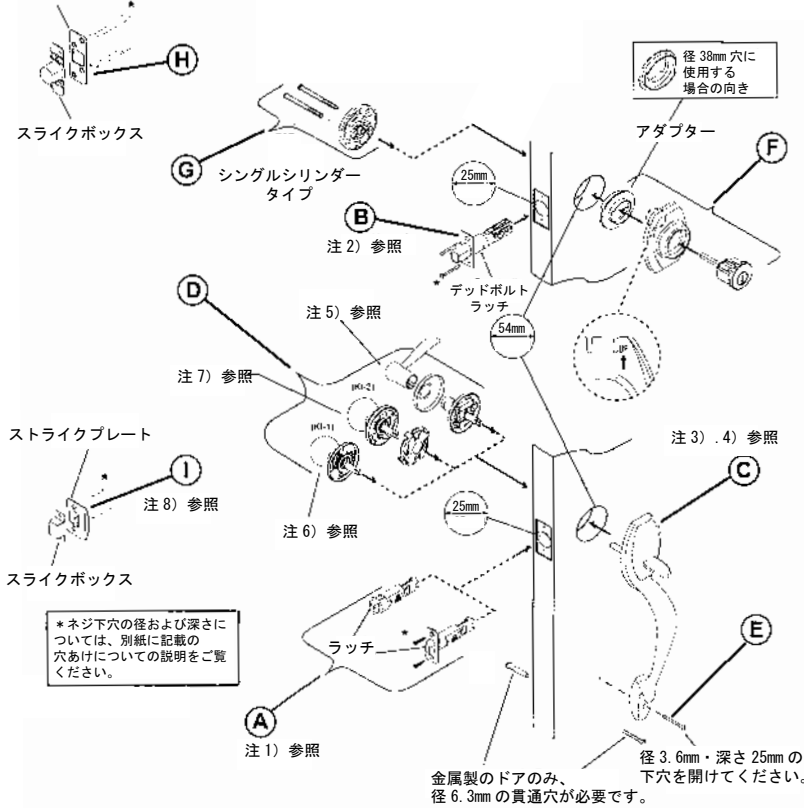
C. 図3を参照し、お手元の製品のラッチのタイプが#4の場合は以下の要領でカラーまたはフェイスプレートを取り付けてください。

＜押し込み式タイプの場合＞
カラーの穴の向きをボルトの形に合わせてボルトに通します。カラーをスライドさせ、カラーのノッチ(a)をボルトのキャッチピン(b)にはめめます。(図3a参照) 注: カラーを外したい時は、カラーの両端を強くつまんで引き抜いてください。

＜フェイスプレートを取り付ける場合＞
(1) バックプレート(c)にラッチを差し込み、
(2) 好みのフェイスプレートを、ラッチボルト上でバックプレートとはめ合わせます。(図3b参照)

2. A-1の順序に従ってください。

ストライクプレート

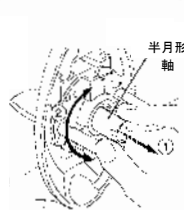


*ネジ下穴の径および深さについては、別紙に記載の穴あけについての説明をご覧ください。

注1) ボトムラッチを取り付ける際は、ドアの閉まる方向にラッチボルトの傾斜部が向いていることを確認してください。押し込み式タイプのラッチをドア側面にはめ込む時は、ハンマーを使う前に、手でできるだけ深く押し込んでください。

注2) デッドボルト用のドア正面の穴径が38mmでやや中心を外れている場合、鍵を開閉する際に、デッドボルトが内部で穴の上面に接触することがあります。その場合は必要に応じて矢印で示す部分を最小限削ってください。

注3) 半月形軸の向きとラッチの開閉部の形が合わない時は、スピンドルを引っ張り、半周(180度)回転させてください。

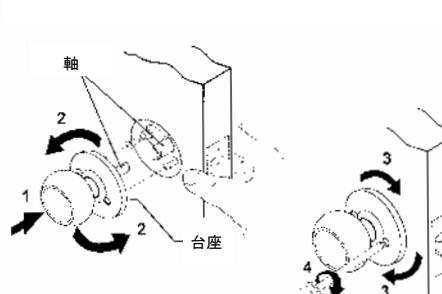


注4) ハンドルのステムにネジを取り付け、22mmねじ込みます。

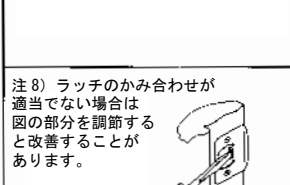


注5) ネジが見えないタイプのレバーの場合(図4参照)
(1) 室内側の台座のカバーを外します(カバーは処分します)。(2) 室外側ハンドルの軸の向きに合わせて室内側の台座を取り付けます。(3) 台座を反時計回りに回転させてネジをはめ込みます。台座がドアに当たったら、(4) 台座を時計回りに回転させてネジを台座の裏側の溝とかみ合わせ、(5) ネジを締めます(注: 場合により定期的に締め直す必要があります)。(6) カバーと(7) レバーを取り付けます。(8) 固定ネジを締めます。

注6) (KI-1)(クイックインストール)ノブのネジが見えるタイプの場合(1) ノブの半月形軸をハンドルの軸の内側に合わせます。(2) 台座を左に回転させます。台座がドアに接触したら、(3) 台座を右(時計回り)に回転させて裏側の溝にネジをかみ合わせ、(4) ネジを締めます。



注7) (KI-2)(クイックインストール)ノブのネジが見えないタイプの場合(図5参照)(1) 室外側のハンドルセットに室内側の台座をはめこみます。(2) 台座を回転させてネジを台座の溝にかみ合わせ、(3) ネジを締めます。(4) 必要に応じて、タブを回転させて合いマーク(▽)の位置を合わせてください。(5) ノブを差し、(6) ラッチが完全に引っ込むまで左側に回転させて固定します。



注8) ラッチのかみ合わせが適当でない場合は図の部分で調節すると改善することがあります。

メチナ: 安全にご使用頂くため、ネジがきちんと締まっていることを確認してください。

図1

図2

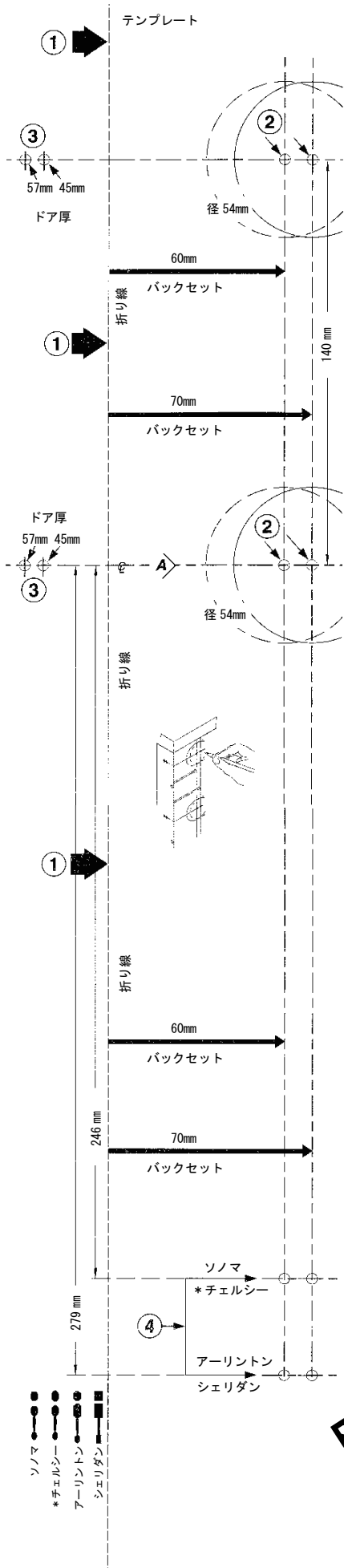
図3

図3a

図3b

図4

図5



ドアに穴を開ける場合の手順

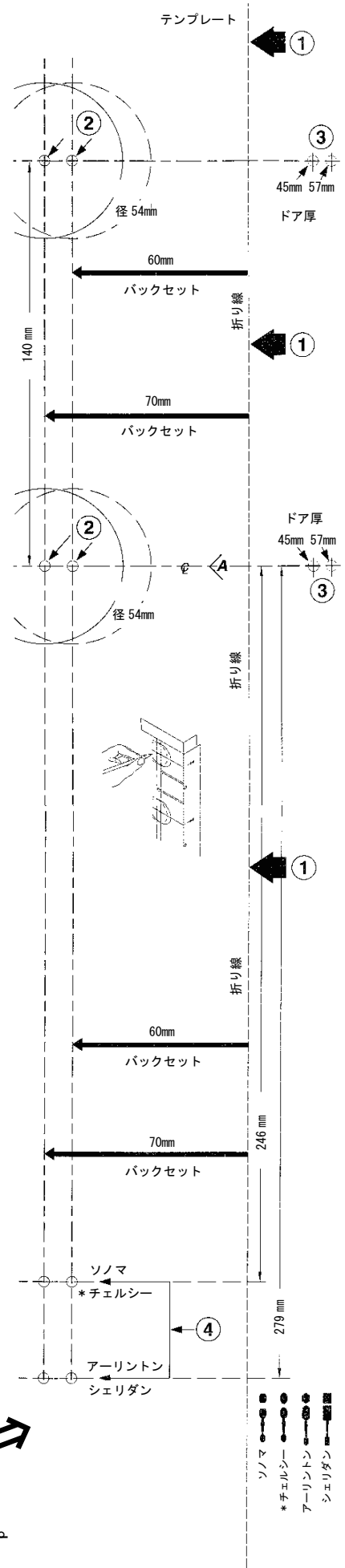
テンプレートを
使用し、以下の1-4に従いドアにそれぞれの穴の位置をマークしてください。

1. ハンドルを取り付ける位置に合わせてドアの室外側で使用できるテンプレートを選んでください。テンプレートを折り線で折り、折り山をドアの正面と側面とのコーナーに当て、床からおおよそ965mmの位置に中心線を合わせてください。
2. バックセット寸法に合わせて径3mmの穴の中心を選び、マークをつけます。〈重要〉中心点を描く前にバックセット寸法を選んでください。(図1参照)
3. ドア側面を開ける径25mmの穴に適した中心線を選び、マークをつけてください。
4. ハンドル下部に取り付けるネジ位置の中心にマークをつけます。これらのマークをすべてつけ終わったら、以下の手順a~jに進んでください。

図1

図2

- a. 下穴(径3mm)を開けます。下穴は、ドア正面は貫通させ、ドア側面は51mm深さにします。
- b. 径54mmの貫通穴を開けます。ドア表面の裂けを防ぐため、ドアの厚さの半分まで開けたら、残りの半分は反対側から開けます。
- c. ドア枠に取り付けるストライクプレートの穴の位置を決めます。ドアを閉め、ドア正面の穴(径54mm)の内側から、ドア側面の下穴に長さ51mmの並ぎを差し込み、ドア枠に当たるまで押し込んで釘の先で跡をつけます(図2参照)。
- d. ドア側面に径1インチ(25mm)の穴を開けます。
- e. ドア枠に、デッドボルトとハンドルセットのストライクとなる径25mmの穴を開けます。穴の深さは、デッドボルト側が25mm、ハンドルセット側が16mmです。
- f. ハンドル下部の位置に、木製ドアには径3.6mm深さ1インチ25mmの下穴、金属製ドアには径6.3mmの貫通穴を開けます。
- g. ドア側面にラッチのフェイスプレートの輪郭を描き、内側を4mm影り込みます。フェイスプレートがない押し込み式タイプのラッチにはこの作業を必要ありません。
- h. ドア枠(木製)に同じようにストライクプレート(2ヶ所)の輪郭を描き、ハンドルセット側は1.6mm、デッドボルト側は2mm影り込みます。ストライクボックスをつける場合は深さを調節してください。
- i. ドア枠にストライクプレートを置き、ネジ穴の中心にマークをつけます。ハンドルセットのストライクプレート用には径3mm深さ(最低)38mm×2ヶ所、デッドボルトのストライクプレート用には径3.6mm深さ(最低)3.6mm×4ヶ所の下穴を開けます。
- j. 続いて別紙に記載の取付方法手順A-Iに進んでください。



⇐
⇒

※注意) 使用不可

このテンプレートは原寸ではございません。

別紙、英文取説のテンプレートを使用して下さい。

ソノマ
 *チェルシー
 アーリントン
 シェリダン

ソノマ
 *チェルシー
 アーリントン
 シェリダン